

COVID-19による農業分野への影響 質問票の分析結果

2020年6月12日
経済開発部農業・農村開発第2グループ第5チーム
柿沼 翔大

調査概要

調査期間： 2020年5月1日～5月15日

調査対象： CARD、IFNA、SHEP関連プロジェクトのカウンターパートおよび農家

調査目的：① 農村部におけるCOVID-19による農業分野への影響の情報収集

② COVID-19の支援策の検討材料とする

回答方法： Googleフォーム、ワードファイル

回答状況： 23カ国から計448件の回答(6月12日時点)

農業活動への影響

- 農業活動への影響は72%が「ある」と回答し、全ての国で強い傾向が見られる。
- 生産量は44%が「減少している」と回答し、全ての国で傾向が見られる。
- 工程別にみると「マーケティング」に最も強い傾向が表れている(52%)。
- 農業活動に影響を及ぼした原因は「移動制限」の割合が高く、「マーケットアクセス」と「農業投入財」は強い傾向を示す国もある一方で、全体的には小～中程度の傾向である。

農業活動に影響を及ぼした原因	要因	想定される影響	
マーケットアクセス	仲買人の不在、需要の減少、マーケットの閉鎖、ファームゲート価格の減少	所得の減少	全体の42%が回答し、多くの国では小～中程度の傾向である。
移動制限	政府による外出制限、集会の禁止	サービス(物品・指導・買取)へのアクセス減少	全体の75%が回答し、ほとんどの国で強い傾向が見られる。
農業投入財	農業投入財の価格上昇、サプライチェーンの混乱、店やマーケットの閉鎖、労働力不足	投入量の減少	全体の41%が回答し、多くの国では小～中程度の傾向である。

食糧/物品価格への影響

- ファームゲート(販売)価格の減少は強い傾向が見られないが、マーケット(購入)価格の上昇および流通量の減少には強い傾向が表れている。

		要因	想定される影響	
ファームゲート価格の減少		市場需要の減少、輸送ロジへの影響によるロスの増大	所得の減少	販売価格が減少したと回答した割合は12～16%と低かった一方、保存できない生鮮食品は比較的高い傾向を示した。(27%)
マーケット価格の上昇	主食	輸送ロジ(労働力不足・店舗閉鎖など)への影響による供給量減少、消費者の買い溜め、中間業者の買占め	栄養不良(エネルギー不足)	全ての国において、品物のマーケット価格の上昇に強い傾向を示している。
	生鮮食料品		栄養不良(バランス不良)	
	投入財		次期作付けへの投入量の減少	
入手可能性の減少	主食	輸送ロジ(労働力不足・店舗閉鎖など)への影響による供給量減少、消費者の買い溜め、中間業者の買占め	栄養不良(エネルギー不足)	全ての国において、品物の流通量の減少に強い傾向を示している。
	生鮮食品		栄養不良(バランス不良)	
	医療品/衛生用品		感染リスクの上昇	
	投入財		次期作付けへの投入量の減少	

生計への影響

- 世帯収入は89%が「減少した」と回答し、全ての国で強い傾向が見られた。
- 収入減少による食生活への影響は、59%が「食事の回数が減った」と回答した。
- これらの人々は今後栄養状態が悪化する可能性がある。

	要因	想定される影響	
食生活への影響	価格上昇、収入減少、 (生産農家の場合)生産量の減少	栄養不良	59%が食事の回数が減ったと回答し、多くの国で強い傾向が見られる。

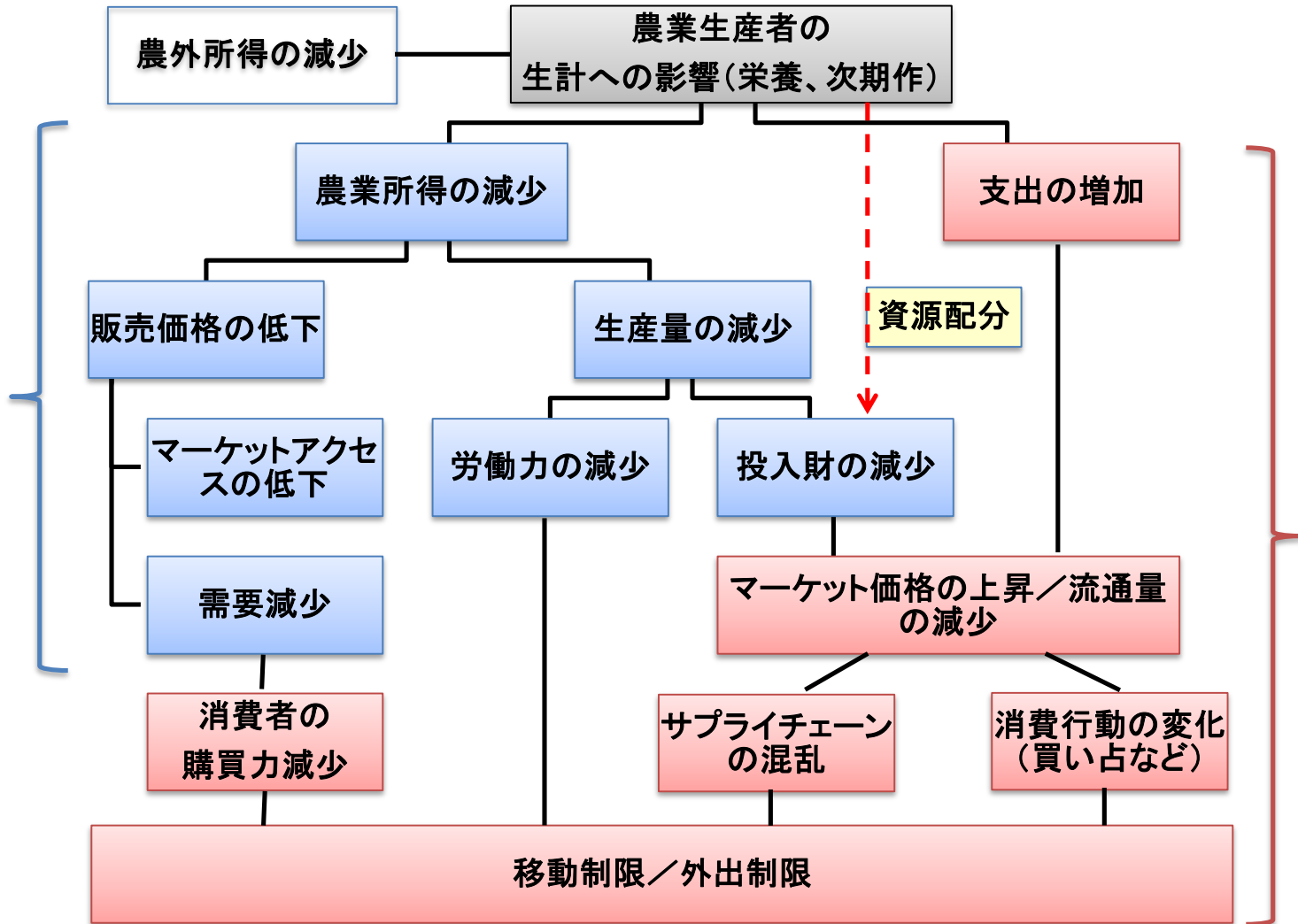
次期作への影響

- 次期作への影響は69%が「ある」と回答し、ほぼ全ての国に傾向が見られる。
- 次期作に影響を及ぼす原因は「移動制限」と「所得/生計」の割合が比較的高い傾向を示している。

次期作に影響を及ぼす原因	要因	想定される影響	
移動制限	政府による外出制限、集会の禁止	サービス(物品・指導・買取・労働力供給)へのアクセス減少	全体の58%が回答し、多くの国で中～強い傾向が見られる。
農業投入財	種子/農薬/肥料の不足、種子/農薬/肥料の価格上昇、店の閉鎖	次期作付けへの投入量の減少	全体の47%が回答し、数か国では強い傾向が見られる。
労働力	移動制限、労働力不足	耕作面積の減少	全体の37%が回答し、ほとんどの国で小～中程度の傾向が見られる。
所得/生計	所得減少	次期作付けの資金不足	全体の58%が回答し、多くの国で中～強い傾向が見られる。

COVID-19の農業分野への影響分析

現時点では小～中程度の傾向が見られるが、今後影響は深刻化する可能性がある。



すでに強い傾向が見られる

それぞれの国によって状況は異なるが、全体的に以下の影響が出ていると予想される。

- 食料品やモノのマーケット価格が上昇し、それによって支出の増加はすでに起こっている。
- 生産者(農家)の生計への悪影響はすでに表れており、それによって栄養不足や次期作へ支障を来す可能性がある。
- 農業投入財や労働力の減少による生産量の減少は一部の国では起こっている。
- 販売価格の減少による所得の減少は、一部の国では起こっている。特に、生鮮食品(野菜・果物)への影響が大きい。

留意事項

- 国によって状況は違うため、国別の詳細な影響はエクセルファイルを参照する必要がある。
- プロジェクトが複数ある国は、複数のプロジェクトの回答が混ざっており、プロジェクト毎の結果ではない。
- サンプル数が少ない国では有意差があると言えないため、引き続き情報収集を行う必要がある。
- 本質問票は定点調査で、5月時点の情報に基づいている。また、作付時期によって回答が偏っている可能性がある。
- 本調査結果によって影響の傾向を把握することはできるが、影響の度合いはわからないことも多く、引き続き注視していく必要がある。
- 正確な影響分析を行うには今後も継続した情報収集が必要である。